PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構

2016 年 7 月 19 日

日本の駐車場技術をメキシコへ！

違法路上駐車を減少させ世界一の交通渋滞緩和を目指す

国際協力機構（JICA）は 6 月 30 日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社リレーションズ（東京都千代田区、佐藤陽平代表取締役）が提案する「日本の駐車場開発技術の基礎調査」（メキシコ）を採択しました。

メキシコシティーは、人口 2,000 万人を超える大都市であり、「世界で最も渋滞のひどい都市」のひとつです。また、メキシコシティーにおける駐車場の整備は遅れており、違法路上駐車の蔓延が交通渋滞の原因となっています。

日本は、限られた土地の有効利用の観点からも、他国に先んじて駐車場開発を進め、その技術を蓄積してきました。株式会社リレーションズは、各地の交通状況に応じた、最適なハード（機械式駐車場）とソフト（管理運営方法）を組み合わせた駐車場提案にかかるノウハウを有し、メキシコシティーの都市交通環境改善に資する、駐車場導入可能性を調査します。

メキシコシティーの交通渋滞と路上駐車

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016 年度は本年 2 月に第 1 回目の公示を行い、41 件の応募のうち 12 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）基礎調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL：http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html

PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構

2016 年 7 月 19 日

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 国内事業部中小企業支援調査課 橋本（案件担当/橋本（広報担当） TEL　03-5226-3243　e-mail：pdtfs@jica.go.jp